

和歌山県企画広報課
印刷所 和歌山県印刷所
印刷 1日11日21日發行
定價一部2円50銭

今年のブラジル移民計画

2、ペーノ州ノ東部沿海地
 四十五族
 ペーノ州の北部海岸の地の地境、土地は肥沃である。この地を以て、コロンの有名な醸造物の外、米、飼料作物を栽培することが適宜である。コロンは牧畜まで、七年八年を要して、この作物の栽培計画が、既に着手されて、同地に既に酒を醸造する中といわれる。

分土地の精華地、一家族當り
は、トラクタと大猿籠備し
て、トラクタは大猿籠備し
て出動せしめてゐるといわ
れり。

助方法としては、開墾資金（
助資金でトラクター、トラツク
等備にもおられる。）と
万クルゼイロ、富貴資金（短
金）とにて万クルゼイロが
礦産銀行から、礦産されるこ
となつてゐます。（萬クルゼイ
定相場一八四圓、萬クル相場一
百圓）の外、生産物には、特
許が行われるのであります。
年利七分であります。

資は、各分團毎に結成せ
る諸組織に對象として行わ
れ、これによりますが、この事業
が中心となつて、植民地の建
つて協同的經濟活動を行つ

きられるのであるから、厚松林
の伐採から始まつて、山麓、盤嶺
、住吉建設に至るまで、すべて自
己の負担と責任のもとに、なされ
ければならぬことにはなつていま
す。從つて入植当初から、非常な
る困難に直面することが予想せら
れるのでありまして、ブラシル移
民を志す人々は、現運事情に對す
る十分な認識と不致の決意が必
要かと存じます。

大体、本年の三月開始は、移民
募集の公告が行われ、四月初旬に
は、移民者の決定見ることにな
りましよう。翌年の移出は六月
開始となる予定です。それによつ
て、大城商船では、移
民船（密客船）の改修を急いでい
ます。渡航費は、政府が貸付す
ることに決定されたが、この
外、支度料の補助について、何
れかの予備措置が講ぜられるよう
關係當局の間で話し合ひが進めら
れてゐます。

入植の条件

連邦植民地というのは、ブラジルの連邦政府が、直接管理する開墾地であり、また、未開墾地の中から、最も有利な土地として選択した地域であるから、将来性は、十分あるものと解してよからうと思われませう。

ブラジル政府は、植民地の基本法に、大正八年度の法律に、教育、衛生、道路、溝渠の建設や、材場、煉瓦工場、土庫、致学校等の建設に力を入れ、又方針であります。

教育施設は、百家族に設けられ、一校兩政府の全額補助で施設され、病院その他医療施設設備に於て、他の植民地以上の努力が、払われ、このことである。

大正から昭和の初期にかけての日本移民は、サンパウロ州やパラナ州等の既成郡地（主としてヨーロッパ人は殖民者）に、農務労働者として入植する契約民が多かったが、今度は、それではなくて、移民は、入植と同時に土地を有られ、入植の初年度から、独

交換分合で農業改革

以上述べたの交際分益事業の現状を紹介し、あわせてこの事業のあり方について考えてみたいと思う。これは、一般国民の福祉と土地に対する関心とか、将来の環境経営のあり方を考慮する目的の利害に

ては、經營の合理化に據ることを
は少いだけでなく、返つてマイ
ナスとなる場合もあることを忘れ
てはならない。

従つて團地を造成するに當つ
ては、その地区の土地条件を詳細
に検討の上、各農家の家賃時にお
ける危険の分配について、充分の
考慮を払うと同時に、個々の農家
の経営の裏面を把握して、その略
略の維持に不可欠の關係をも持
定地を配置すること、特殊作物
の作付適地の合理配分等各農
家の意向を考へせて集團地の敷
地所を定めることが一般に必要で
ある。

次に團地建設に關するところ

〔註〕アマゾン及びパラ州のシュウト栽培移民
五〇家族はアマゾン河流域に定住する。
先住者のもとに入植する。

考へられる。かく昭和二十五年、二十八兩年
事業内容を含めて、初年既事
故に止むを得ないといへる。
区を除く大の地区において
警察本来の如いである「村
来の農業計画の理想を繰り、
にマッチして主要の部分計画
を立てる」という形にて未だ種
ものはなすに至らずに認め
ればならぬ一現状にある。

は今後この政策を推進するに
てのよき点に留意し、そ
果を更に高めるべきかに
て考えとみるゝ、先ず分散交
にしている問題をも併化すべ
農産物の近代化をはばむ概を
た束ねることもうていさす

は耕種面に控下する力を節減し
て来るべき農業改革に必要なる努力
上の予給を得ることによる以上、
現在の耕種方法を前提とした努力
の節減策として集團化に止まら
ず、労働力節約の側面から方策であ
る農業の機械化、動力化を促進す
るため雇用機械資金の高度の利用
を容易ならしめるものと同一の組み
方を考えるければよい。

ために、交通距離の短縮を考慮
すること、以上に団地と貯蔵道水路
の結合を合理化するよう努め、更
に進んでこれの新設改修等の工
事を順次させることが肝要である
と思う。

団地を造るに当り留蔵すべき
第三の点は、水節約ということ
である。わが国の灌漑経営は拙作

サービス向上

標 額
用 紙
繡 切
襲 表
賞
者に屬する。

一等一名 賞金 千円
二等二名 同 五百円
佳作 若干名 記念賞

和歌山県庁禮光課内

昭和二十八年二月末日（海印）
月杢わか山五月雪 觀光たより」その他 著作権は主催

應募規定

標額でサービスピ神を適切に表現したもの
賞與はがき

標 額
用 紙
繡 切
襲 表
賞
者に屬する。

一等一名 賞金 千円
二等二名 同 五百円
佳作 若干名 記念賞

和歌山県庁禮光課内

昭和二十八年二月末日（海印）
月杢わか山五月雪 觀光たより」その他 著作権は主催

應募規定

標額でサービスピ神を適切に表現したもの
賞與はがき

和歌山県立高等看護学院

一、募集人員 二〇名
二、修業年限 三九年
三、応募資格 高等学校卒業者又は卒業見込者
一、願書締切 二月末日
二、考查月日 三月十一日
一、特典 授業料不要奨学金支給
其の他詳細は本学院へ照会せられたい
和歌山市徒町

和歌山県立高等看護学院

では、満足すべき結果は得られるものではなく、あくまで実施地区の全農家に関連つけた認知的な計画でなければならぬといえらるる。

交與分合計協立の方法にあられる余裕がなく、ただその方針を述べるに止まつたが、これらは決して、机上の理想論でなごつて、教々の先進地の実情からなづけるところである。しかし初めに述べたようにこの事業の推進をはばむ教々の事由を内包する農村において所期の事業成果を収めるためには、ただ計画の樹立になつたばかりのためする努力が要請されるばかりではなく、一般農民の古い考えを一掃した合理的な精神に基く眞の自覚とからの協力がなされていなくてはならぬ。

説論
經濟自立へ
盛り上る意慾を

昭和二十八年の新暦を迎えて私共は一人商賈深い元旦を跨ぎた。我々日本人民族は陸地の戦争で歴史初めて以来の血の痛切な打撃を受けて臨みつゝ、来る年の月を送り迎えて働く國際社会の一員として独立を祝ふ元旦を翌年とした。私共は元旦の街にはためきの丸を纏て何かしら明るいものを感ずる。それは天来の天璽として國民の象徵となされる龜甲子の成慶を尊ぶ國に急がしているからかも知れないとつて調和後のわが國は自立の階層化の確立、國中、中小企業、の合理化が強く要請されてゐるが、現実には最近に於ける國際經濟の不安定、國內の金融的過剰生産の不活潑、國內の金融的過剰生産、設備過剰生産の堅持等、如何なる階層界は深刻な不安を呈現す。そのシロは中小企業に寄せられる傾向が強く中小企業の資金難に深刻なものである。

そこで、これが對策の基本方針と
しては、一般市中銀行の確實促進の
ための皇財資金金の預托、中小
企業の専門金融機関の強化が充
分特殊資金源の導入を金融に關す
る諸問題の解決と共に、合理化的
促進、信用保証、信用保證等、中
小企業者側の資金流入のための諸
問題の解決を図らねばならないので
、これらの対策を徹底的に實施してい
る。

さて、戦後破産倒壊した日本
經濟の基礎を我國民のためよき
努力と米蘭の援助によつて徐々に
回復して來た。特に鉄工業の生産

調査経過を辿り、その指數は戦前
の昭和九一二年を一〇〇%と
して昭和二十六年七月、一三七・
四%に達した後二十七年一月には
一二四・六%と落ちたが、その
後毎月上昇して二十七年八月には
一三九・八に暫全體的に調整
を持續している。それといふもの
が國には戦後使用の出來る膨大
な游休能力があつたからである。

かくてわが國の經濟は底が深いと
言われながらも戦時國難からぬ
有難様を示している。併しながら
日本の自立經濟の基礎は未だ安定
をしないのではない。あしも特需

たが、この國に於ては、自立的經濟として外國に利となり自立經濟としての體ではない。即ち朝鮮、關東廳生片以降を呈していたわが國情は、世界擴張計劃の續延、ドル不平等及び各國の輸入制限、構置の實施、國際市場の停滯を反映し貿易は益々悩み且つ特需の動向も渺々しくなく全般的に彌蹙過程にある様を見られる。かくる状態下に於ては我々時常や暫く殊多收入のみを依存してはいられない。これに對し經濟自主計劃の達成に努める調練は努力が必要とされる所以である。従つて「經濟自立」計劃達成のための基礎付けとして、
問題の解決、資本家の推進、電氣設備の充實、日支關係の改善、國策の統一等について、我國國民にその許可を明示し我々國策がそれを獲得前途の光明を見て努力するならばその實現は可能であらう。それと同時に、これに処する適切な施策と國民の努力忍耐との結合によつてわが國對經濟の安定が達成された時に初めて預かしたい新日本が生れ出るのである。

私共昭和二十八年のこの年頭に當つて特に困難なる百九十四萬の國民の各々にこの盛り上る國民の意氣を期望して多幸なる新年の賀詞と致したい。

金融あれこれ問答 (下)

前号で 中小企業金融は何故困難であるか
國ではどのような対策を構っているか、県の施
策の中、信用保証協会の設立、中小企業融資推
進基金制度等についての回答を掲載いたしまし
たが、今少し続けることにします。

企業診断等を実施
受容態勢の確立が大切

A この制度、中小企業融資資金（保証金制度）による融資はどの位行われているんだい。

B 一億二千五百万円から十兆円に對して昭和二十七年七月の月末迄で累計六億九千九百五十万円の貸出しが行われている。又商工中金の貸出残高は同年六月末で一億七千余万円となっている。

A その手続方法を教えてくださいな。

B この制度は金融機関の中小企業融資のための資金の増加による貸出しの増加を図るものだから直接予託をしている金融機関に普通の借り入れ手続によって申込みは良いのだが、金銭上の引合いの場合には当然県の信用保証をつけることゝして、なるべく保証手続の手続と同じで、希望金融機関（民生銀行や散出支店の三箇のうちの県信用保証協会）は県商工課に備へておける用

紙によつて申込みばよい訳だ。

A それでは何事案内容等が問題になる訳だ。

B それはいいから場合でも確信になることだから限では以上のような措置をしてゐるのだでなく、同時に中小企業側の所謂受客層を整えることに努力してゐるわけだ。

A 全く受客層のこととは云われる。

B そう。金を借りるには先づ金融機関の方からみて貸し易いこと、これを整へるといふことになることゝ、つまり貸して貰ひ易い所謂受客層を整へておく、事先決要件なので、而もこのことには單に金を借りるためだけでなく企業体を育てるためだといふことはその経営上當然であることだ。

A そうは言ってもその目その目に追い立てられている中小企業者にはなかなかつかない註文だ。

B だからと云って放つておいてはいけません。でも中小企業は浮ばれまい根本的なところであるし又自分では気がつかない場合やわかり難い事項もあるので、僕は経理講習会を開催して経理の指導をしたり、企業診断といつて千度の医者が健康診断をするように夫々の専門の診断院によつて個々の企業体の診断をし改善すべきことを勧告したりして中小企業の受容態勢の確立を図つて次第に

A 診断はいふことには違ひないが正直に言つてあまり内部に入つて調べられる病金の関係で心配にはなつてゐるが。

B 理想はやはりおきめるべきものはおきめ、儲けるだけは儲けよう。

A あく時々新聞へ出ていたあれだ。

B そうだ。商工課関係のあることをいつか常任員の商工課で相談に応じており、更に補助金を出して和歌山、田辺の両商工

金を貸す

返還

A 金融機関は直接行つてもなかなか話のつくれないし、クレジットやソツドでは貸してくれないようなが。

B いや銀行等何処か預つた金を貸すのが商売で、惜り手はお

によつて中小企業金融を促進する
と同時に中小企業協同の受託業務の
整備に努めていくべしとの訳だね。

B その通りで、どこまでも際合
的にやっているので、金融状況の
調査や金融機関同との連絡等を絶
えず行つて精練に金融対策を推
進している人、又ききの水害のよ
る

田るときは

業計画

済計画

を示すこと

安きんはのだから強欲になつたり
強欲することば更なる。ただ金
が獲るから貸してゐるだけであ
行つても駄目だ。例へば、仕入
るのから問われていくものであ
「ここ」多ければ多ければいいの
間違ふなによいのである。

A それなら直接金融機関へ行
かなければならぬわけだね。

B 勿論そうするのが一番早
い。ただ信用保証の申さなければ
の面下課でも受け付けてゐるので
これに頼んで、融資の指撥や斡旋も
行つた。

金融機関の信用をなくするのを心
得おかなければならぬ。又企
業内情を明確に示さなければなら
は帳簿組織の確立による経理の明
確は勿論、本来から金融機関と
の取引を密接にして、金を借る
の

に際しては信用に照らして、
「保証」してゐるかどうかを
「保証」してゐるかどうかを
「保証」してゐるかどうかを

B まあそうだ。それなら金を
借りるのは何とも銀行に限らず
はなく、信用金庫とか信用組合
は相違ない、その他に話して、民
民金融公団でも良いし協同組合
その親合は、商工中金でも勿論
皆に貸せる訳だから夫々の事情
を利用してゐるのだが、やはり自
分の取引先をちゃんと決めてお
うか。

A 利子はその位置のものな
うか。

B 小口の貸付には臨時利潤
整法が適用がはじまつていたので
金融機関によつて違ふが銀行は概
通日歩、銀七厘程度で信用金庫や
信用組合は尚高く、更に相違行
は高いようだ。短期と長期でも違

金を借るときは
事業計画
返済計画
を示す

十二月臨時議會は、十月十九日開會、最後日二十日の本會議は小野組のアメリカ觀察報告に續いて各委員長の報告を讀み追加予算四萬九千余圓及び二つの條例の改正とを可決、選考管理委員會及び同補充員會、四名を充て、諸罷免、意圖斷たしを可決して閉會した。今回の追加更生予算は、與財政が困難に現在の二つの相當額の赤字を覚悟しなければならぬので、公共事業費その他、緊急に、實施を要すると認められる事業は相當多數あるがその中本年度に繰延

分租金約一千二百万円、林業獎勵金山事業分租金五百万円、この外、支那地租返還に一千余萬圓の外、支那對策防衛事業等、土木、國庫公共事業費として約四千萬圓、田畑、合計二億六百萬圓、國庫補助金の交付に伴うものも、

國庫健康保險費二千余万円、旧軍人遺族保護事務費、百七十五余万円、主要食糧調製費約、百二十萬圓等

四億九千万

四億九千万円可決
十二月臨時県議会

のだけである。その主なものは次（その他）

(公共事業費)
 国が附随している鐵道の分相金
 で納付を要求されてゐるものと
 して、紀の川及び和歌山海關係
 工事分相金一厘四角五匁、國
 道改修工事分相金一千六百余
 円、十津川紀の川縣河川整事業
 費、大坂府所屬の建物二
 十余万圓、大阪府所屬の建物
 十萬圓、東久留駐在職權會
 (二十坪一棟)建設費五十
 萬圓、津島鐵道工費四百余
 万圓、依染藥予防費五百十
 余万圓、結核予防費約二千
 萬圓、廣田建設費二百六十
 万圓、廣田建設費二百六十

る。そのうち、

その他

「和歌山県建設審査委員の任命につき同意を求めらるる」
「同施行に付する」……那賀郡安楽川村と海部郡鵜飼村は昭和二十一年一月二日から、海部郡大崎村は二月一日から旧制を実施することになり、それぞれ安楽川町が和歌山（旧和歌）、大崎町となる。

めるところになるのから充分注意を要する必要がある。信用保証をつけた場合等も信用保証をして貰つてゐるのだから返さなくても良いだつと云ふうちは考えは全くあやまりで、そんなことをすれば強制執行による取立てされるだけでなく、二つの金機關の人員がなくてはそれと同時に全部の金郡の九七・九%を除いて他の郡市

昭和二十七年農米の供出期限は一月末日までであるが、農政政課の十四日の調べによらず本県全体では二〇二%の成績をおさめていた。郡市別では和歌山市の九九・九%、新宮市の九八・九%、海草島、新宮市は東牟婁郡、毎に抽籤金を開くことになつてゐる。

又今年も一月三十一日末に行われた超過供出に對して宝鏡縣に交付された、二月上旬郡市（海草島、海草島、田原市は西牟婁郡、新宮市は東牟婁郡）毎に抽籤金を開くことになつてゐる。

て、この位置で借金をするかしないかの決定は、資金計画を立てる時に必ず行わなければならない。手と云うようでは話にならない。

やはり前に言った通りしっかりと事業計画と資金計画及び確実な返済計画を立て、それによつてどの位借りたかをきまつりしておかなければならぬ。つまり原則として金筹措をいつてゐたからといって金の要もものは無条件で貸して貰ふ筈ではないのだから、先ず資金の借入を必要とする理由を明示すること、次に該資金の使用を明確に詳細な資金計画をたてること、及び確実な返済計画を立てることが融資条件を明確にすることが融資要件となる。

A その言われれば一々もつともた事ばかりで当然となければならないが、やはり銀行から金を借りる際は担保とか保証人の確保で面倒なのはどうか。

B その人の信用の度にもよるが適当な保証人や担保を要するのは普通である。

A 金を借りるといふことは全くつかない問題だね。

B まあ誰でもすぐ借りられるのは苦味はないのだが、結局は急がば是れ剣式に平素からの準備と心のか掛けが大事で、その場になつてサアと慌ててもならぬなむづかしいのだね。

A いや色々どうも有難う。

B まだまだ話し足りないが、何によりさすべきたい事があつたら風の商工課内の中小企業相談係なりへ連絡せずに行くとだ。いつでも相談できるよ(笑)。

供米百%突破
今年も超過供出

昭和二十年産米の輸出期限は一月末日までであるが、關税裁減の十四日の調へによるが、本県全体では〇二%の成績をあげてゐた。郡市別では和歌山郡の九・九%、新宮市の九・九%、海草郡の九・七%を除く、他の郡市は全開くことになつてゐる。

佳日に輝やく

これら名譽の男女青年諸君は、單に個人の喜びに止めず、小野知事個人の健康と壽山県一の事の梗概する「健康と壽山県」の先駆者となつて、今屆す迄す本県との仲間に協力致し、我々が望まぬ成績を収めたことは、既

一位 那智郡安藝川町 磯 一
 二位 那智郡小倉村 畑村隆二
 三位 那智郡新宿村 藤田繁則
 四位 海部郡島崎町 総田政司
 五位 日高郡内原村 直川武雄
 女子の部
 一位 和歌山市西浜 田口敏子
 二位 有田郡田原村 西澤英代子
 三位 田辺市楢成町 濱川イト
 四位 伊都郡樺木町 滝崎佳子
 五位 有田郡佐賀町 桑 幸子

身長一七二釐、体重六五斤、胸圍九三・五釐、坐高九五・八釐、百米走一三秒五、走中跳五・六五米、砲丸投二・三米、懸垂腕曲一八回、ボールの當二点、綜合判定上級

青年の体位と健康は向上

から、どういふふうに報酬するかの
その方の如何が大切になつて来
るものである。

成人すといふことは、わかり
切つたことではあるが、身心共に
資格を有する者になつたといふこ
とである。そこで、自分の健康状
況を知り、活動能力を知らしめる
ことが大いに必要となるの

準備に万全を期して、
昭和二十六年は、受検率八〇％も
という好成績を得たが、最初の二
十四、五年は該当者の半数にとど
まない成績であつた。なほ更に勉
め継続が課かつたのであつかうか。
その原因を求めるため、各調査係
にお集りを願つて反省会催した
のであつた。そして、該当者及び

父兄の認識が足らない、つまり啓

る。何町村雪麿、その成績何々、
百々受映、何々町村何何町村等
係員はその期間に濟むながらも、
是非主眼点をと、検査金鵄、又
浮びあがつていた。

行ふ委員の方々の面上にも、
と感觸、そして、今後更にこの検査
を推進させて行こうとの熱意が
浮びあがつていた。

成人体力健康
検査の集計

青年の地位と疾病状況を、昭和
二十四年から二十七年までの成人
二十四年までの成績を、

第一表 成人体力健康検査
年次別地位別成績表
(平均値)

成人 体力健康
検査の集計

第一表 成人體位健康檢查年次別體位成績表

昭和二十七年の
成人体力健康検査を顧みて

木下正雄

昨年の成人体力健康検査も市町
村長を初め学校、青年団等の御努
力により一昨年同様良好な検査
結果で終了したことは随分嬉し
い事である。いま検査をあらか
く見て将来考へなければなら
ないと思はれる諸点を掲げて見よ
う。

一、検査事務の進行については身
体検査の測定計量、健康診断は比
較的順当よく行われていると思
はれるが体力検査は比較的規律が守
られずその実施も順当を欠く向
きが多いに思う。なかには学校
の先生方が指導され青年団幹部
の協力を得て至極順調に行われ
ているものもあり、私が視察し
た有馬郡鹽竈の如きは小学校の
校長先生自ら準備運動その他検査

の指導に當つており規律ある進行
ぶりが見られたの昨年に倏快に
感ぜられたが、こうしたことは
案外少いのではないかと思う。單
獨演「オライヴ」の命令式の品
物扱いに過ぎないことが不合理は
ないが適當な指導者がいない
次々とうまく整理はなさるべきで
あり、多人数の集合の場合は参加
者に於ても自主的に規律ある行動
をされたものである。又検査の
態勢を高める爲に参加者は眞
摯な態度で力一杯の体力を出さ
れんことを望むものである。本素
筋内労働に従事しは人々が突然
一〇〇米を走つたり山跳をした
り急激に運動をする場合、用意に
合はざる場合は往々にあるので進
行運動が是非必要と思うがそこま

で指導していることも案外
ないのではないかと。要するに
体力検査は、応急般の指導者があ
れば、夏期講習毎に夫々指導者があ
るとよいと思う。

二、体力検査の科目が普遍的で適
當的なものを選んでおるが成人の
うちでは今迄に経験のない科目も
あり、そのため技能が拙く力量
をあらわすことが出来ず初級を
もたないものが多い。小学校で
中学校で運動会が行われる場合
年組の各種競技も併せて行われ
る場合が多いがこうした競技の際
は体力検査科目として入れて試験
することゝ必要である。従前は
町村単位、青年団の体教会が開
き、更に郡単位、県単位に大会
定期的に開催されて青年の体力

表 賞 状 授 与

受検率もまた検査事務の進行に順次進められ、場合がよいからこつた時料に
なれば、納め集しでもなかなか承く待た
ず、早くから来た人を承ぐ待た
ざるわけにもゆかないので来次願候
を急を急とするところも相当ある
ようだがこうしたことは概し
受検率がわるいようである。

公衆道徳の欠如とか、集団訓練
が出来ていないとか、徒來非難さ
れてきて日本人の風所が少しも是
れに向ふことなく文化國家
の建てる生敵者となる一部若人の心
病にのみよゝ保存されているもの
とすれば近年教育の重要性を一人
一痛感する。

國體者の努力によつて該当成人
がだんだんと本検査の重要性を認
識されてきたことは遺憾なきこと

として發足したのもや、その活動
の状態に於てもまだまづである。
県会殿に青年団が結成されて若人
が湧けなく加入されることごとく
になれば、本検査の趣意をも人々に
徹底することとならうか。未給服
のことには速かに結成を期望する
ものである。

四、本検査によつて不幸に病を
発見した罹患者は爾後治療費並に非
必要であるから治療割引券を利用
して必ず最寄の医師に治療せよとい
ふことで健康体に復するのを圖す
ものであるが、治療割引券の利用
が比較的少いように思われるのは
遺憾であり、この点については保
健所長のお一臂の勤勞力並に

いたひ。

八で最も自信のない者受検した結果であると思われ、又昭和二十七年は、二十年以上表にわたる経歴に同じており、これを全国の同年令の体位(昭和十五年国民体力検査成績)と比較しても、殆んど等しい結果であつて、戦後、青年の体位の厥後が向上しているのである。

又疾病(腕肘トラウマ、ウロシなどと共に、神経性疾患が相当多、特に結核性肺患はなお相当の潜存患者のあることが予想される。がこれ等は近年の最も注意を払ひねばならぬ点であつて、この成人体力健康検査の事後指導として保健所を中心に、治療の実施、療養の指導等を行つてゐるのであるが、今後、随分、青年層の自覚並

項目	測定人員		身長		体重	
	性別		男		男	
	男	女	男	女	男	女
昭和24年	3,892	2,831	161.5	151.4	54.0	51.3
昭和25年	3,875	2,923	162.0	151.5	53.5	49.6
昭和26年	6,735	6,241	162.0	151.8	53.4	49.1
昭和27年	6,374	6,345	162.2	152.3	53.9	49.4

男	女
54.3	54.8
54.3	55.1
52.5	54.6

生一昭和二並
 生一昭和二並

健康と幸福

伊達嘉明

私達はよく「幸福」とは何であるかと考えることがあります。又、俗々と人の話の間き、本なども読んで見るのですが、人々々の立場によつて「幸せ」も異なりますが、しかし人間の社会に於いて寛めるもの、貧乏などの区別なく最大且つ根本的な幸福は「健康」で生活することにあるかというところに一致するようです。ところが理論の上では誰でもこのことを充分認めながら、「学生生活のここには」とあると意外人々は、この最手近な幸福を自からの無關心としてひたすら取り逃してゐるのではなからうか。群れでも自分や家族の者が病氣に罹る初めに「健康」の大切で、何よりも有難いことを痛感するのでが、健康を恢復すると、やがて元來無關心に居るのが大部分の人體であると思ひます。こんなことを繰り返す間に、おたら生命を失ひ、或は廢人に等しい体を病床に預け久なるとしての落伍者となり、或は臨終の不和や苦悶等不幸な結果になることが多いのではないのでしょうか。特に死念を抱き、明るい希望に燃え上つて社會人としての第一歩を踏み出そうとする若人が、健康を嘗て充分の活動が出ないようなことがあれば、本人は勿論のこと一室、一團にとつて不愉快なことではない不幸なことであらう。そこで果は「成人の目を意識せしめる重要行事とし

赤雲をはかりたいと努力いたしてゐるであります。

自身の「健康」と「体力」の程度を知る唯一の好機會である本検査の重寶性を充分認識して進んで受検し、本當に幸福に充ち誇れた人生の礎をしっかりと築き成人としての第一歩を力強く踏み出されるよう青年諸君の自覺と奮起を切望いたします。

(醫務課係)

項目	身	長	体	重	胸	囲	生
性別	男	女	男	女	男	女	男
本県	162.2	152.3	53.9	49.4	83.2	82.5	88
國性	161.6	152.5	53.6	49.9	82.2	80.6	87
本縣	163.7	153.7	53.8	48.1	84.1	81.8	86
全國							
學生							
一般							
金口							

(注) 測定年次、本縣一昭和二十七年八月～十月四年四月、全國學生身體検査年度、全國一般

項目 測定人員			身長		体重		胸 囲		座 高	
	性別		男	女	男	女	男	女	男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
年 次	男	女	m	m	kg	kg	cm	cm	cm	cm
昭和24年	3,892	2,881	161.5	151.4	54.0	51.3	84.3	82.3	87.8	84.0
昭和25年	3,875	2,923	162.0	151.5	53.5	49.6	83.9	81.7	87.8	83.8
昭和26年	6,735	6,241	162.0	151.8	53.4	49.1	83.7	81.6	87.7	83.3
昭和27年	6,374	6,345	162.2	152.3	53.9	49.4	83.2	82.5	88.0	83.4

項目	身 長		體 重		胸 囲		坐 高		比體重		比胸圍		比坐高	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
本 縣 性 別														
全 國 性 別														
本 縣 全 國 學 生 金 口 一 般	162.2	152.3	53.9	49.4	83.2	82.5	88.0	83.4	33.2	32.4	50.8	54.2	54.3	54.8
	161.6	152.5	53.6	49.9	82.2	80.6	87.7	84.1	33.2	32.7	50.9	52.9	54.3	55.1
	163.7	153.7	53.8	48.1	84.1	81.8	86.0	84.0	32.9	31.3	51.4	52.6	52.5	54.6

(註) 測定年次、本縣一昭和二十七年八月~十月(成人體力健康檢查全國學生一昭和二十四年四月(全國學生身體檢查成績)全國一經一昭和十五年(國民體力檢查成績)

栄養改善普及運動

一月二十一日〜二十七日

一月二十一日から一週間、県民の栄養改善普及運動が、実施された。この運動は、国民の健康増進と、食生活の改善を目的として、県民の生活に密着したものである。この運動を通じて、国民の健康増進と、食生活の改善が、一層進められることとされている。

この運動は、国民の健康増進と、食生活の改善を目的として、県民の生活に密着したものである。この運動を通じて、国民の健康増進と、食生活の改善が、一層進められることとされている。

体位の復帰未だし 農村で甚しい脂肪の不足

農村で甚しい脂肪の不足。体位の復帰未だし。脂肪の不足は、体位の復帰を妨げる原因となる。農村では、脂肪の不足が、体位の復帰を妨げる原因となっている。

調査別	地区別	調査月別	世帯数	調査人数	熱量	蛋白質			脂肪	含水炭素	無機質			ビタミン			
						動	植	計			カルシウム	鉄	銅	Ain	B1	B2	C
県民栄養調査	田市	5月	30	143	2206	51	28	79	28	409	472	78	1822	289.3	1.45	0.79	80
	市	8月	29	137	2345	30	53	83	32	432	323	57	1615	1212	1.47	0.82	87
	新宮	11月	29	140	2275	40	40	80	30	430	397	67	1718	2052	1.46	0.80	85
	市	2月	30	151	2099	28	54	82	24	386	293	58	1793	1869	1.01	0.67	43
	河内	5月	30	159	2052	41	47	88	25	369	251	42	1672	1044	2.11	0.65	42
	町	8月	30	158	2075	34	50	84	24	377	272	50	1732	1456	1.56	0.66	43
	古座	11月	30	133	1992	27	42	69	23	386	256	34	1856	4692	2.23	1.41	105
	町	2月	30	127	2237	29	59	88	29	413	295	47	1810	1574	1.50	0.70	79
	野口	5月	30	130	2113	28	50	78	26	399	275	40	1833	3133	1.86	1.05	84
	村	8月	30	138	1950	15	47	62	12	398	222	23	1743	6196	1.50	0.71	137
	平均	11月	30	138	2436	29	54	83	16	499	225	24	1788	2220	1.45	0.57	21
国民栄養調査	田市	5月	30	138	2218	22	50	72	14	422	223	23	1763	4203	1.47	0.64	79
	市	8月	30	174	2054	18	45	63	13	422	220	28	1611	4921	1.36	0.67	113
	新宮	11月	29	168	2151	19	48	67	14	438	221	40	1560	3365	1.35	0.67	119
	市	2月	29	171	2102	18	46	65	13	430	225	34	1585	4143	1.35	0.67	116
	河内	5月	47	216	2073	27	54	81	18	396	276	68	1494	1494	2.13	0.94	69
	町	8月	46	213	1763	27	56	83	18	337	237	89	1545	1545	0.79	0.50	39
	古座	11月	46	214	1968	27	45	72	18	366	256	78	1519	1519	1.46	0.72	54
	町	2月	41	43	2015	34	46	80	22	374	289	50	1734	1734	1.81	0.76	72
	野口	5月	21	83	1984	29	40	69	22	377	256	70	3541	3541	0.56	0.48	34
	村	8月	21	65	1999	31	43	74	22	375	272	60	2637	2637	1.18	0.62	53
	平均	11月	89	353	1779	21	41	62	12	354	270	60	484	484	1.16	0.60	47
	田市	5月	89	367	1911	22	42	64	15	379	334	98	1013	1013	0.96	0.51	34

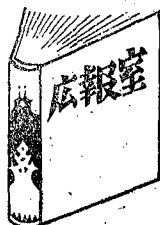
市町村教育長講習会

教育長には免許が必要

市町村教育長講習会。教育長には免許が必要。講習会を通じて、教育長の職務と責任が、一層明確になることとされている。

教育長には免許が必要。講習会を通じて、教育長の職務と責任が、一層明確になることとされている。

講習会を通じて、教育長の職務と責任が、一層明確になることとされている。



民友。この雑誌は、国民の健康増進と、食生活の改善を目的として、県民の生活に密着したものである。この雑誌を通じて、国民の健康増進と、食生活の改善が、一層進められることとされている。

国民の健康増進と、食生活の改善が、一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。

一層進められることとされている。